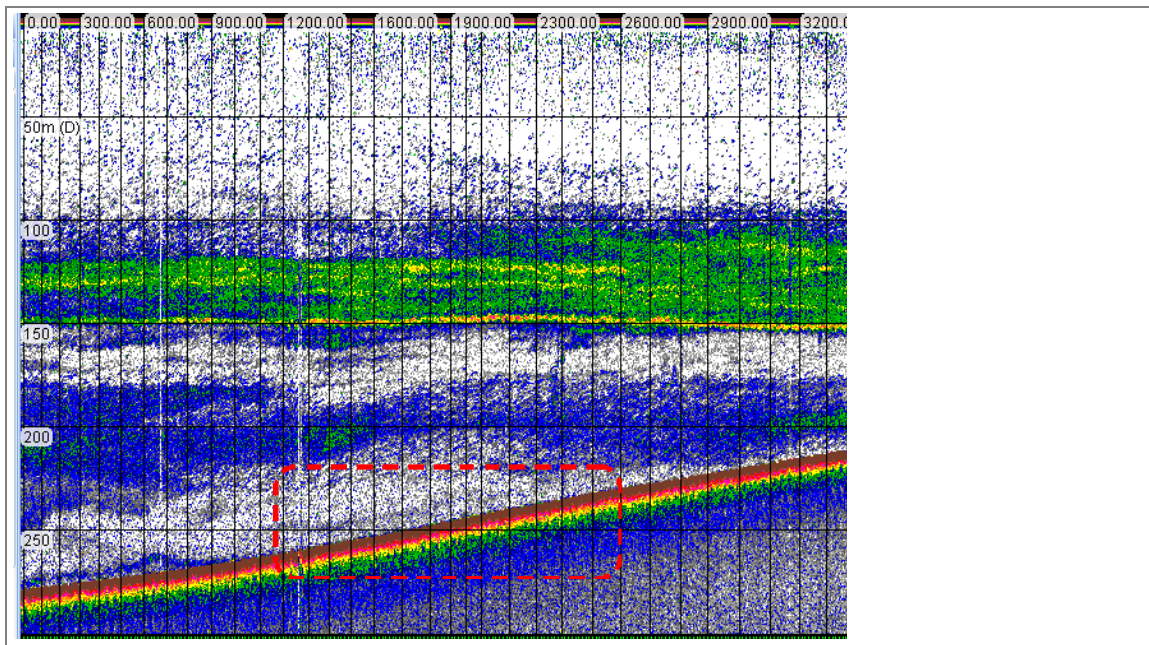


反応構成生物：ハタハタ (*Arctoscopus japonicus*)

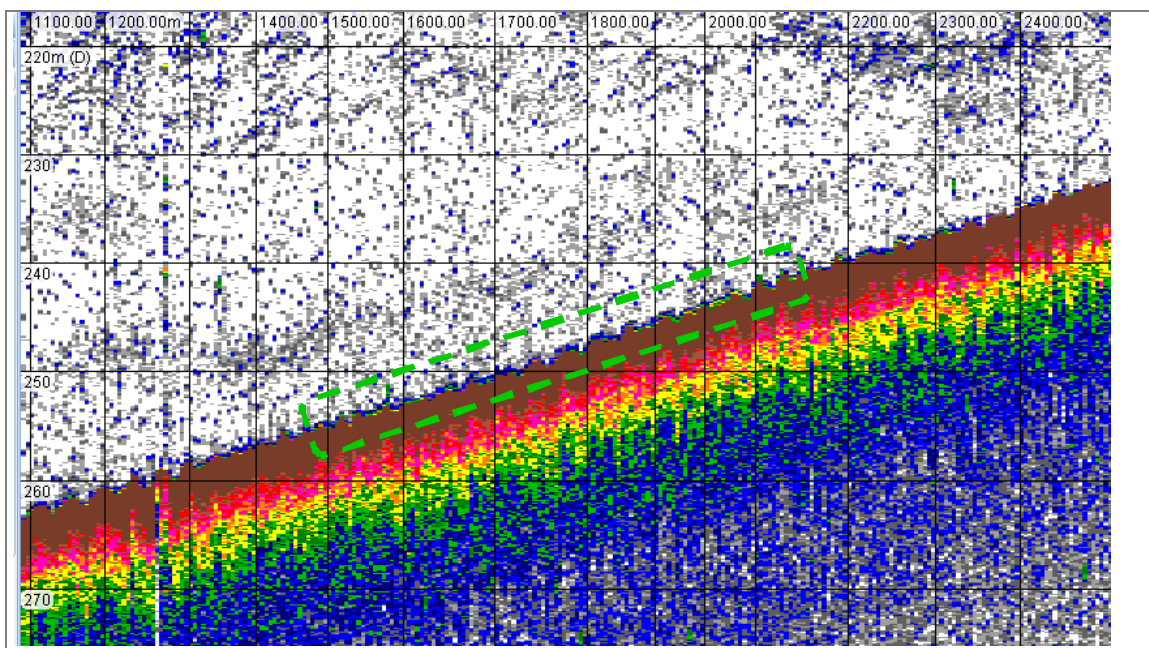
収録日時：2009年11月24日 (昼間 10:30 頃)

収録海域：日本海，男鹿半島沖

収録機種・周波数：EK500・38 kHz



Echogram-1 38 kHz



(Echogram-1 赤破線部の拡大, 緑破線部がハタハタと推察される) Echogram-2 38 kHz

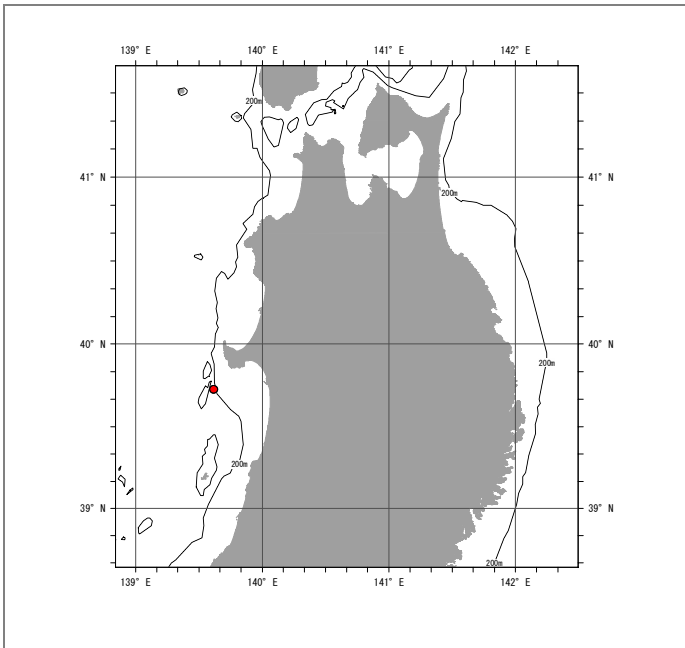
表示スケール： 縦 300 m／横 3400 m (Echogram-1) , 縦 60 (216~276) m／横 1400 m (Echogram-2)

グリッド間隔： 縦 50 m／横 100 m (Echogram-1) , 縦 10 m／横 100 m (Echogram-2)

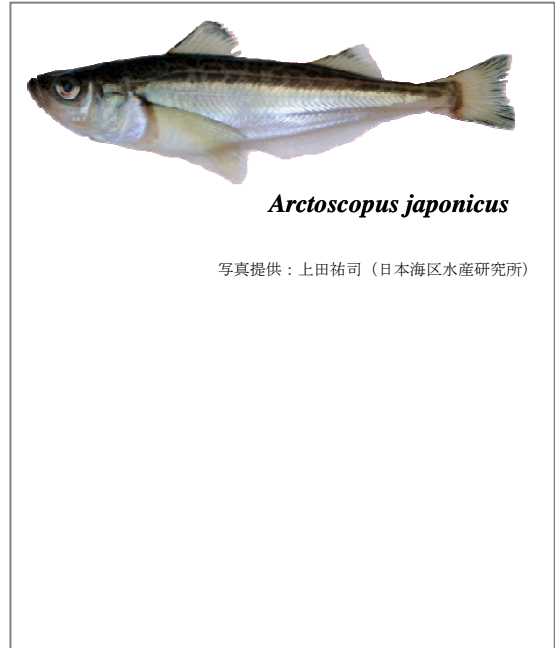
表示色・表示  $S_v$  範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：秋田県農林水産技術センター (工藤裕紀), 千秋丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

小型底曳網（かけまわし）によりハタハタを確認したこと。

サンプリング詳細情報・備考

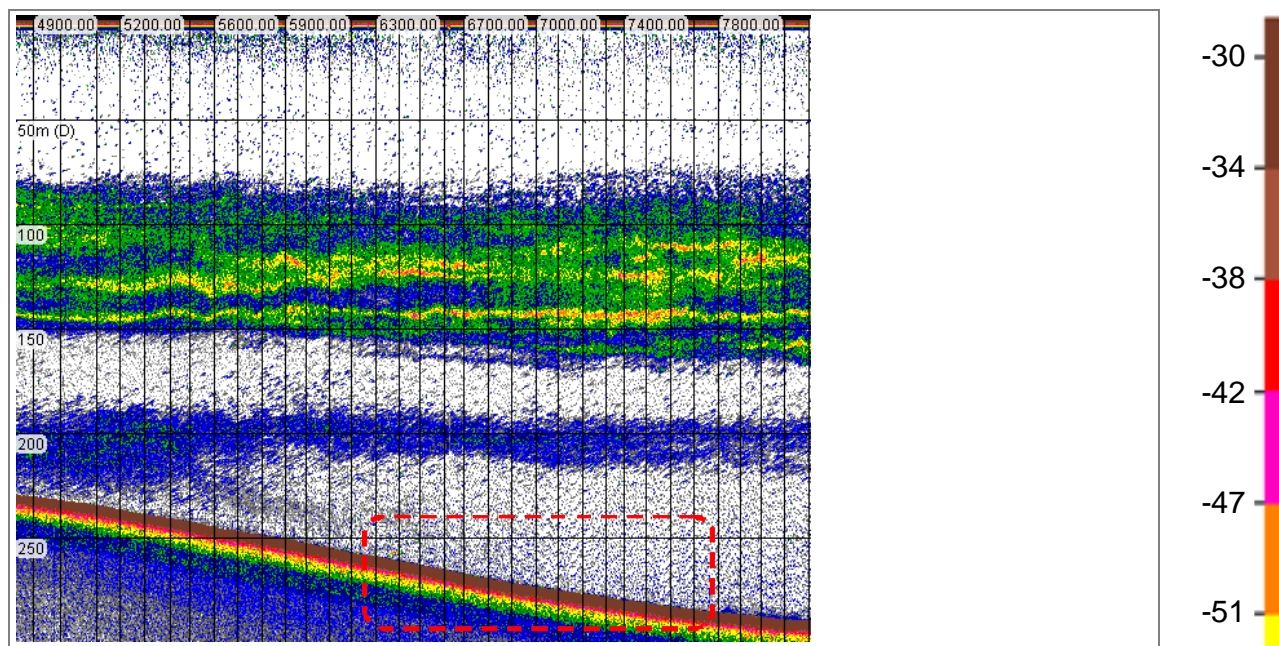
エコグラムが収録された海域（水深約 248 m）で小型底曳網によるサンプリングを実施したところ、ハタハタを主体に約 5 トン確認した。

反応構成生物：ハタハタ (*Arctoscopus japonicus*)

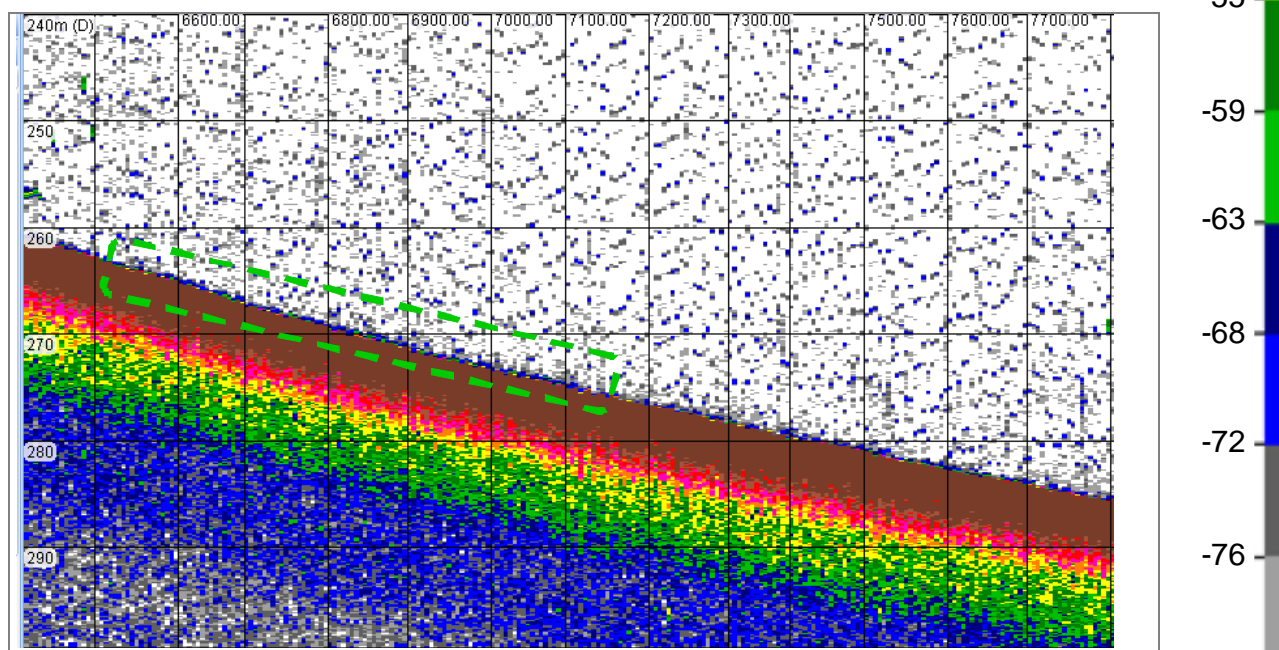
収録日時：2009年11月25日 (昼間 9:50 頃)

収録海域：日本海，男鹿半島沖

収録機種・周波数：EK500・38 kHz



Echogram-1 38 kHz



(Echogram-1 赤破線部の拡大, 緑破線部がハタハタと推察される) Echogram-2 38 kHz

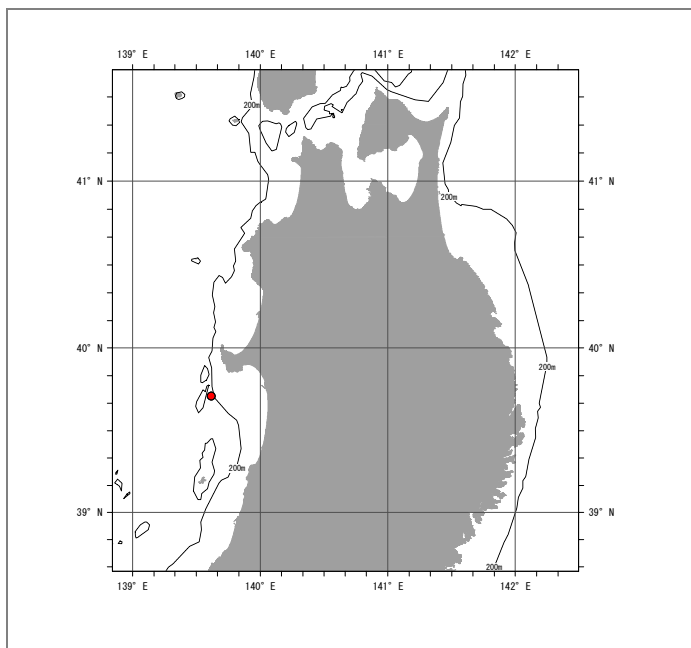
表示スケール： 縦 300 m／横 3400 m (Echogram-1) , 縦 60 (240~300) m／横 1400 m (Echogram-2)

グリッド間隔： 縦 50 m／横 100 m (Echogram-1) , 縦 10 m／横 100 m (Echogram-2)

表示色・表示  $S_v$  範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：秋田県農林水産技術センター (工藤裕紀), 千秋丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

小型底曳網（かけまわし）によりハタハタを確認したこと。

サンプリング詳細情報・備考

エコグラムが収録された海域（水深約 270 m）で小型底曳網によるサンプリングを実施したところ、ハタハタを主体に約 7 トン確認した。